



3月号で SDGs の基本的な知識、4月号で SDGs に取り組む具体的な例をお知らせしました。シリーズ最後となる今月号では SDGs のイメージを高めるため、よくある質問にお答えします。

1. SDGs って何?

「持続可能な開発目標」です。

サステナブル
Sustainable

Development Goals
開発 目標

持続可能な

開発

目標

SDGs とは、2016 年から 2030 年までを期間とした、「地球上の誰一人も取り残さない持続可能な世界」を実現するために、「すべての人が主役となって取り組む国際目標」です。貧困や飢餓といった問題から、働きがいや経済成長、気候変動に至るまで、世界が抱える課題を解消するための目標を包括的に示しています。

「持続可能」って
どういうこと?

持続可能とは「現状維持」という意味ではありません。私たちの生きる世界は、このままいくと経済的にも環境的にも破綻してしまうことが分かっています。日本を含む先進国のこれまでの経済成長は、公害や自然環境の破壊を引き起こし、地球はすでに限界まで来ています。現状の「持続不可能」な社会から、「持続可能」な社会へ移行するには、みんなでこの世界を大変革する必要があります。

「開発」というと
発展途上国の話?

途上国に限りません。「貧困」や「飢餓」と聞くと発展途上国の問題だと感じるかもしれませんが、SDGs には「働きがいも経済成長も」や「住み続けられるまちづくりを」など、先進国に住む私たちにも共通する問題が多く含まれています。「開発」の原語「デベロップメント」には、経済発展という意味もあります。

「目標」が多すぎて
覚えられない?

17 の目標にはいくつかポイントがあります。「貧困」「飢餓」「不平等」など地球全体に関わる問題を解決すること。「健康と福祉」「質の高い教育」「安全な水とトイレ」など資源やサービスをあらゆる人に届けること。そしてそれらの目標をみんなで達成することです。17 の目標は全て根っこでつながっているため、どれか一つだけを切り取ると、最終的な解決になりません。全体を見る目が重要です。

5. 誰が取り組むの?

私たち一人一人です。

取り組む主体は、国連や各国政府だけでなく、民間企業や金融機関、市民団体などのあらゆる組織です。そして誰より私たち一人一人が SDGs への参加を期待されています。

6. 何かやらないとダメなの?

SDGs は、義務やルールではありません。SDGs に興味を持ち、何かを実現したいと思う人たちが、自分の意志で取り組むものです。何をやるか、どのようにやるかはその人の自由。何かを我慢したり、義務感から取り組むのではなく、何かワクワクすることから始めてみましょう。

7. 個人では何もできない?

SDGs の 17 の目標は地球規模の大きなものが多いため、なかなか自分ごとに感じられないかもしれません。しかし、SDGs の大きな特徴の一つは、みんなで連携して取り組もうとする点です。立場や利害関係の異なる人たちが、SDGs という共通の目標のもと協働し、目標達成を目指すのです。



4. いつから始まった?

「持続可能な開発」という考え方は、1980年代から国連を中心に議論されてきました。環境問題をめぐっては、先進国と途上国との間で意見が対立する点もありました。SDGs の前身である MDGs (ミレニアム開発目標) は主に途上国の課題が中心でしたが、SDGs においては、両者が同じ目標を目指すことになったのです。

3. なぜそんなに盛り上がってるの?

SDGs は自然環境の問題だけでなく、経済の問題でもあります。2017 年に開催された世界経済フォーラムでは、SDGs の推進によって少なくとも 12 兆ドルの経済価値がもたらされ、最大 3 億 8000 万人の雇用が生まれると推計しています。SDGs は企業や金融機関にとって大きなビジネスチャンスであり、成長戦略でもあります。

2. SDGs って はやってるの?

国家戦略や経団連 (日本経済団体連合会) の企業行動憲章にも SDGs が組み込まれ、取り組みが広がっています。さらにテレビや雑誌でも特集が組まれたり、お笑い芸人など有名人が参加した PR 活動も行われています。